

My Life Style

Woman 65



Profile

新里きぬ子 / 釜石市出身。仙台市内の短大保育科を卒業後、神奈川県で幼稚園教諭を経て、結婚と同時に釜石にリターン。その後、学研の教室『はっぺんくらぶ』の先生、パソコン指導を経て、ブライダルプランナーへ。

新里 きぬ子 さん

Kinuko Niisato

母心をカップルのよき日に重ね 真心こめてプロデュース

幸せ作りのお手伝い
ブライダルプランナー

海と山に恵まれた陸中海岸国立公園の中心にある釜石市。そのメインストリートに位置する「ホテルサンルート釜石」で、岩手県で初めての認定プロフェッショナルブライダルプランナーとして日々奔走している、新里きぬ子さん。

プランニングはもちろん、BGMの相談や当日の進行まで一貫して一人で行っている新里さんは、「カップルと共に作り出すウエディング」を目指し、二人らしさがあふれた心温まる式づくりのお手伝いをしている。

幼稚園教諭、学研の先生、パソコン指導を経て、ブライダルプランナーの仕事に着手したのは40代も終わりの頃。

全米ブライダルコンサルタント協会の1級試験合格のための勉強、世界のウエディングについてなど、熱心に勉強を重ねた新



全米ブライダルコンサルタント協会認定の資格証明書

里さんは、欧米で最も権威ある全米ブライダルコンサルタント協会認定のウエディング・プランナーの資格を取得した。

「日頃から様々な音楽を聴いたり、映画を観たり、本や雑誌を読んだり、好きな場所に出かけたり。ショッピングをしても、流行のカラーやファッションを感じてコーディネートアイデアを膨らませたり、どれも私の創造の世界にプラスになっていますね」と、常に五感を働かせて生活している。

職場では、プランナーは新里さんただ一人のため、カップルとの打ち合わせの時間調整は必須。

「私の代わりはいないので不安な面もありますが、やりがいはいくらでも大きなものです。披露宴を終え、新郎新婦やご両親様、ご親戚の方々から、「本当にいい結婚式だった」と言っていただけだと嬉しいですね。また、以前式をした2人が赤ちゃんを見せに立ち寄ってくれたときなどは、すごく感激しますね」と顔をほころばせる。新里さんが母の顔になる瞬間である。

オリジナリティあふれる
最高のウエディングに

現在52歳の新里さんのキャッチフレーズは、「母心（ははこころ）伝導結婚プロデュ



プロフェッショナル・ブライダル・コンサルタントの新里さんが手がけたウエディングは、温かさと優しさがあふれている。

「ホテルサンルート釜石」

岩手県釜石市大町2-3-3 電話0193-24-3311
http://hskam.lix.jp

「サーキNU」。

「私が、娘たちに伝えたかったことや、お母様・お父様だったらこんな気持ちで、このように送り出してあげたいのではないかといい気持ち、代わりに披露宴という場を借りて表現させていただくのが、私の仕事かなと思っています」

自宅で花嫁支度をして送り出していた頃のように、新里さんは、懐剣・簀迫・末広の儀をはじめ、父から娘への戴冠セレモニーなども式に盛り込んでいる。

「今ここにお二人があるのはご両親を始め、皆様に支えられてきたからこそ。今日の日を迎えられているという感謝の気持ちをカップルに持ち続けていたいただきたいと願いを込めています。その思いが伝えられたときは満足感を覚えますね」

そんな新里さん、私生活では4人のお孫さんをもつおばあちゃん。オフタイムは、最近始めた太極拳や手話サークルのほか、数日休みがとれたときは、お孫さんに会いに仙台まで車で出かけることも。

「ドライブが大好きで、青いインプレッサに乗ってどこまでも走り続けています（笑）。孫と遊ぶことがパワーの源!」

今後は、障害を持つ人も安心して任せられる式のプロデュースをしたいと、チャレンジ精神をみせている。